

年 表

年 代	事 項
21000 年前	メキシコでの人類の活動(トラパコーヤの発掘による)
B・C 7000	テベシュパン人の活動。テワカーン盆地の最古層 メキシコ高原で狩猟と農耕を結合した経済様式が出現(～B・C5000)
5000	テワカーン盆地で人口の増加, 栽培の開始
2000	トウモロコシ農耕の開始
1500	～B・C900 テワカーン盆地で大型土偶の製作
1200	～B・C500 オルメカ文化の最盛期
400	テオティワカンに集落の発生
200	～A・D100 テオティワカン, 都市の形態をとり始める
A・D4世紀	テオティワカンの興隆期 第1次マヤ文化興隆(～9世紀)
409	ゲルマン民族, イベリア半島に侵入
475	『エウリコ王の法典』編纂
506	『西ゴート人のローマ法』(アラルコの抄典)編纂
554	ユスティヌス皇帝によるイベリア半島南部の征服
～650	テオティワカンの最盛期
～750	テオティワカン, 崩壊
654	『フェロ・フスゴ』(リベル・ユードイクム)公布
711	イスラムのイベリア半島征服, 西ゴート王国の滅亡
718	アストゥリア王ペラーヨ, 国土回復運動開始
10世紀	トルテカ文化の興隆期(～12世紀)
11世紀	ユカタンで第2次マヤ文化(～12世紀)
1050	『フエロ・ビエホ・デ・カステイーリャ』公布
1112	『デクレート・グラシアーノ』編纂(～1140)
1143	ポルトガル独立王国形成
13世紀	メキシコでチチメカ, アステカ, ペルーでインカの古代王国起こる(～14世紀)
1255	『フエロ・レアウ』公布
1265	『シエテ・バルティダス』編纂(～1263)
1280	『オルデナンサス・レアレス・デ・カステイーリャ』公布
1310	『レイエス・デ・エステイーロ』公布
1348	『オルデナミエント・デ・アルカラ・デ・エナレス』(アルカラ王令)公布

- 1479 スペイン国家の統一
- 1492 コロンブス、新大陸地域(サン・サルバドル島)に到着。グラナダ陥落、国土回復戦終わる
- 1493 法王アレクサンデル4世、回勅「インテル・カエテラ」により、スペインとポルトガルの勢力圏の間に分界線を定める
- 1494 新大陸に最初の植民地サント・ドミンゴを建設。「トルデシーヤス条約」によりスペインとポルトガルの勢力範囲を画定。エスパニョラ島でインディオの最初の反乱
- 1500 ペドロ・アルバレス・カブラル、ブラジルを発見
- 1502 エスパニョラ島(ハイチ島)でエンコミエンダ(原住民の寄託)が公認される
- 1503 レパルティミエントを認める(副王時代の終了未まで公式に続く)。セビーリャに通商院創設
- 1505 『レイエス・デ・トーロ』公布
- 1511 最初のスペイン人、アギラルがメキシコに到来。サント・ドミンゴにアウディエンシア(聴訴院)設置
- 1512 『レイエス・デ・ブルゴス』公布
- 1514 ラス=カサス、エンコミエンダの撤廃運動を開始
- 1518 ユカタンに司教区設立
- 1519 コルテース、アステカ征服に向かう。ベラクルース市を創設
- 1520 エンコミエンダ廃止。メキシコで天然痘発生
- 1521 コルテース、テノチティトランを包囲、陥落す
- 1524 インディアス枢機院、行政、司法上の管轄が付与される
- 1527 メキシコ市に第1次アウディエンシアを設置。モンテホ父子によるマヤ地域の征服開始(～40年代半)
- 1530 メキシコ市に第2次アウディエンシアを設置
- 1532 フランシスコ・ピサロ、インカ征服を開始(～35)
- 1534 ブラジルでカピタニア制が確立
- 1535 ヌエバ・エスパーニャ副王領の設置
- 1535 メキシコの初代副王安トニオ・デ・メンドサが着任
- 1537 ラブラタ川地方の最初の植民地アスンシオン建設される
- 1542 『レイエス・ヌエバス』公布
- 1544 ベルー副王ヌエス・デ・ベラが着任
- 1546 メキシコでサカテカス銀山が発見
- 1549 ブラジルの総督トメ・デ・ソウザが着任
- 1551 メキシコとりマに大学設立。メンドサ、ベルー副王としてリマに赴任
- 1556 フェリッペ2世、カスティール王に即位

- 1557 メキシコで銀の水銀アマルガム精練法を發明
- 1567 『ヌエバ・レコピラシオン』公布
- 1569 王令によりインディアスにおける異端審問の永続的設立が許可。トレド、ペルー副王に就任(~81)
- 1570 ペルーに宗教裁判所設置
- 1580 フェリペ2世、ポルトガル領土ブラジルを併合(~1640)
- 1588 スペインの無敵艦隊、イギリス軍に敗走
- 1591 フスガド・ヘネラル・デ・インディオス、メキシコに設立。農地改革の王令によりコンポジションの制度導入。コンスラード、メキシコに設立
- 1609 レパルティミエント、ミタの導入により緩和
- 1623 イギリス、西インド諸島に植民開始
- 1624 ヘルベス副王とベレス・デ・ラ・セルラ大司教の抗争
- 1630 オランダ人、ブラジル北東部を占領(~54年)
- 1632 副王、ミタを廃止(但し、鉱業を除く)
- 1640 ポルトガル独立
- 1645 メンドサ、大学法を編纂
- 1680 『レコピラシオン・デ・レイエス・デ・ロス・ヘイノス・ラス・インディアス』(インディアス法令集成)編纂
- 1700 スペイン王室ブルボン朝となり、英国との敵対激化
- 1713 「ユトレヒト条約」締結
- 1714 インディアス総合省の創設
- 1717 ヌエバ・グラナダ副王領を創設
- 1718 エンコミエンダを廃止、フェリペ5世、スペインにインテンデンシア(県)制度を導入
- 1737 『オルデナンサス・デル・コンスラード・デ・ビルバオ』を法典化
- 1750 「マドリッド条約」によりブラジル国境がほぼ確定
- 1760 インストレ・イ・ナショナル・コレヒオ・デ・アボガドス(令名高き全国法曹会)設立
- 1763 スペイン、フランスと「パリ平和条約」締結
- 1765 サン・ミゲル・エル・グランデ、プエブラの反乱
- 1767 イエズ会員、新大陸から追放される
- 1776 北米イギリス領、独立戦争を始める。ブラジルの首都、パイアからリオデジャネイロに移る
- 1778 インディアスの通商の完全自由化
- 1779 永代所有財産制度の廃止
- 1780 新大陸植民地と本国の自由貿易が認められる。エンコミエンダの廃止。

- アルト・ペルーにトゥバク・アマルの反乱起こる
- 1783 『オルデナンサス・デ・アランフェス』(鉱業規則)公布
- 1786 インテンデンシア(監督官領)を設置
- 1789 フランス革命, 始まる。『黒人法典』公布
- 1790 通商院の廃止。インテンデンシア制度が全般的に確立
- 1791 ハイチ(フランス領)で黒人の反乱
- 1796 スペイン, 対英戦争に突入
- 1804 ハイチの独立。フランス, 『ナポレオン法典』公布
- 1805 『ノビシマ・レコピラシオン・デ・ラス・レイエス・デ・エスパーニャ』公布。カッハ・デ・コンソリダシオン(公債統合金庫)創設
- 1808 ナポレオン, スペインを占領, 兄ジョゼフ・ボナパルトをスペイン国王にする。パヨナの憲法公布。ポルトガル王室, ナポレオンの侵入を避けてブラジルに移る
- 1810 イダルゴ神父, 「トレドの叫び」をあげ独立戦争を開始。コルテスへ代議員を送る(～14年)。『奴隷廃止法』を制定
- 1811 イダルゴ, 処刑される。パラグアイ, ベネズエラ(一時的)独立
- 1812 スペインでカディスの国民会議が開かれ, 憲法を公布。『市参事会構成法』, 新刑事訴訟手続規定, ミタと一般賦役の廃止法を制定。シモン・ボリーバル, ベネズエラ, コロンビア, エクアドル, アルト・ペルーの解放
- 1813 副王ベネガス, メキシコでカディスの憲法(スペイン王国憲法)を公布。モレロス, 『国民の自覚』(センチミエントス・デ・ラ・ナシオン)を発表。チルパンシンゴでアナワク議會を召集, 独立宣言(『ヌエバ・エスパーニャの完全なる独立の宣言』)を発表
- 1814 副王カリエッハ, カディスの憲法を停止。議會, アバツィンガンの憲法(『メキシコ人のアメリカの自由のための憲法布告』)を採択
- 1815 モレロス, 処刑される
- 1816 トックマン市に会したアルゼンチン諸地方の代表, 独立を宣言
- 1817 ホセ・サン＝マルティン, チリ, ペルーを解放(～22年)
- 1818 チリの独立
- 1819 大コロンビアの創設。スペイン, アメリカ合衆国と「オニス・アダムズ」条約締結(フロリダ売却)
- 1820 『フィシオ・クリティコ・デ・ラ・ノビシマ・レコピラシオン』公布。スペイン王フェルナンド7世, 「リエゴの革命」によりカディスの憲法の実施迫られる。ベラクルース総督ダビラ, カディスの憲法の再実施を宣言。メキシコで異端審問が最終的に廃止
- 1821 イトゥルビッデ, 「イグアラ計画」を発表。副王ファン・オドノファー, 「コ

- ルドバ条約」により「イグアラ計画」を受け入れる。イトゥルビッデ、メキシコ帝国の独立を宣言。ペルーの独立。ベネズエラ、コロンビア合体し、グラン・コロンビア共和国成立
- 1822 第1回制憲議会が設置され、議会はイトゥルビッデをメキシコ皇帝に任命。イトゥルビッデ、議会を解散。アメリカ合衆国、メキシコの独立を承認。ブラジル、ポルトガルより独立しブラジル帝国となる。スペイン、『刑法典』公布
- 1823 イトゥルビッデ、再開議会に退位を要請される。第2回制憲議会が設置。中央アメリカ諸地方、メキシコより分離して、中央アメリカ合衆国を結成。アメリカ合衆国大統領モンロー、いわゆる「モンロー主義」を宣言
- 1824 『憲法要綱』(アクタ・コンスティトゥティーバ)に続き、『メキシコ合衆国連邦憲法』公布。これにより巡回および地区裁判所設置。政令により最高裁判所設置。グアダルーベ、大統領に選任
- 1825 グアダルーベ、大統領に就任
- 1826 ポリバルの提唱により第1回米州諸国会議開催、「パナマ条約」調印
- 1827 スペイン人(ペニンスラール)、メキシコから追放
- 1829 ゲレーロ、大統領に就任。スペイン軍、タンピコを占領。スペイン、『商法典』(サインス法典)制定
- 1830 ブスタマンテ、大統領に就任。アラーマン、テキサス州隣接地域への外国人入植を禁止。グラン・コロンビア共和国解体
- 1832 サンタ＝アナ、ベラクルースで反乱。『特許法』公布
- 1833 ゴメス・ペドラーサ、大統領に就任。サンタ＝アナ、大統領に就任(但し、政権は副大統領ゴメス・ファリアスが担当)。ゴメス・ファリアス、モラ等とともに教会、教育、軍隊、財政等の一連の諸改革法令を公布。サンタ＝アナ、政権を直接に担当し、諸改革法令を停止
- 1834 サンタ＝アナ、ゴメス・ファリアスを罷免。諸改革法令を廃止
- 1835 第3回制憲議会、『新憲法の基準』を発表
- 1836 サンタ＝アナ、ベラスコ条約により、テキサスの独立を認める。スペイン、メキシコと平和友好条約を締結、メキシコの独立を承認。『シエテ・レイエス・コンスティトゥシオナーレス』(七憲令)公布、これにより「最高調整権」を創設
- 1837 ブスタマンテ、大統領に就任。メキシコ市・ベラクルース間の最初の鉄道建設コンセッションを付与。刑事訴訟に関する最初の法律を公布
- 1838 フランス軍、ベラクルースに到着、フランス市民の持つ債券の支払いを求める最後通告を行う。メキシコは支払いを拒否、フランス軍、ベラクルース市を占領。中央アメリカ合衆国解体、中米5カ国生まれる

- 1839 メキシコ、フランスと平和条約締結。ブスタマンテ、政権をサンタ＝アナに委譲。サンタ＝アナ、政権をニコラース・ブラーボに委ねる。ブスタマンテ、政権に復帰
- 1840 ユカタン、連邦制を要求して独立を宣言。ゴメス・ファリアス、1824年憲法への復帰を求めて反乱(ブスタマンテにより制圧)
- 1841 ユカタン憲法を承認、アンパéro(保護請求)を初めて規定。サンタ＝アナ、政権を握る。『タクバヤの諸原則』を発表。『七憲令』失効
- 1842 第4回制憲議会が召集される。「名士委員会」を設立(第5回制憲議会)
- 1843 制憲議会、行政権の権限の強い『組織基本法』(パーセス・オルガーニカス)を制定。ユカタン、メキシコへ復帰
- 1844 サンタ＝アナ、初代大統領に就任。ホセ・ホアキーン・デ・エレーラ、臨時大統領になる。ドミニカ、ハイチより独立
- 1846 パレデス、臨時大統領に就任。アメリカ合衆国、テキサスの連邦への編入を承認。議会は、「憲法と改革の決議」を通じて24年憲法の復活を決め、サンタ＝アナとゴメス・ファリアスをそれぞれ正副大統領に選任
- 1847 テキサス、アメリカ合衆国へ加入。サンタ＝アナ、ゴメス・ファリアスを罷免、政権に復帰。アメリカ合衆国軍、メキシコ盆地へ侵入。サンタ＝アナ、大統領を辞任(コロンビアへ亡命)。最高裁判所長官デ・ラ・ペーニャ＝イ＝ペーニャ、大統領を代行
- 1848 ユカタンで「カースト戦争」起こる。「グアダルーベ・イダルゴ条約」調印。議会、「グアダルーベ条約」を批准(ケタロ)。エレーラ、大統領に就任。スペイン、『刑法典』公布
- 1851 アリスタ、大統領に就任。スペイン、『民法典草案』(ガルシア・ゴイェナ草案)完成
- 1853 アリスタ、大統領を辞任。最高裁判所長官ファン・B・バセリョス、暫定大統領に就任。サンタ＝アナ、亡命先より帰還、大統領に就任。暫定憲法として『共和国行政諸原則』公布。アラマン、組閣。サンタ＝アナ、「終身執政官」となる。メキシコ政府、ラ・メシーリャ地域をアメリカ合衆国へ譲渡(「カズデン条約」)
- 1854 『外国人と国籍に関する法律』公布。ビリャレアル、ファン・アルバーレスの支援を得て「アユトラ計画」を発表。テオドシオ・ラレス起草の商法典公布(～55年11月)
- 1855 サンタ＝アナ、政権をイグナシオ・パボン、マリアノ・サラス、マルティーン・カレーラの3将軍に委嘱(キューバへ亡命)。クエルナーバの評議会、ファン・アルバーレスを暫定大統領に選任。ファレス法(『連邦の司法行政および裁判所構成に関する法律』)公布、これにより軍裁判所と宗教裁判所

- の管轄事項が通常裁判所に移管。コモソフォルト、大統領に就任
- 1856 第7回制憲議會を召集、『メキシコ共和国暫定組織法規』を公布。レルド法(『永代所有財産解体法』)、プエブラの宗教反乱を契機に公布される。『改革の諸法』公布
- 1857 共和制・代議制、民主制・連邦制を謳った『メキシコ共和国憲法』公布。コモソフォルト、大統領に就任。フェリックス・スローアガ、新憲法の制定を求め、「クタバヤ計画」を発表
- 1858 スローアガ、大統領に指名される。コモソフォルトの後任として、議會は政權をフアレスに委ねる。これにより自由主義者と保守主義者との「3年戦争」が始まる。フアレス政府、イグレスィアス法を公布。アメリカ合衆国、フアレス政府を承認
- 1859 ミラモーン、保守党政府の大統領に就任。「クタバヤの虐殺」。フアレス、『教会財産国有化法』、『民事婚姻法』公布
- 1860 保守党政府軍、カルプランパンで自由党政府軍に大敗(ミラモーンはハバナへ亡命)
- 1861 自由党政府軍、メキシコ入城。フアレス、メキシコ市へ帰還。英仏西、ロンドン會議で債券確保のため、メキシコの主要港湾と税関の軍事占領の決議。スペイン軍、ベラクルース市を占拠
- 1862 英仏軍、ベラクルースへ到着。英西軍、仏軍との同盟を破棄(メキシコから撤退)。仏軍、プエブラ攻略に失敗、アメリカ合衆国と「犯罪人引き渡し条約」締結
- 1863 仏軍および保守党軍、プエブラを陥落。フアレス、政府をサン・ルイスに移す。仏軍、メキシコ市へ入城。「名士會議」召集、フェルナンド・マクシミリアンへの皇帝提供を承認。『新帝国の諸原則』を制定。ラレス法を復活。『未墾地の占有と譲渡に関する法律』公布。仏軍の指揮権、バゼーヌに委ねられ、同軍占領下で、1857年憲法の施行は停止
- 1864 バンコ・デ・メヒコ創設。マクシミリアン、メキシコ皇位への就任要請を受諾。マクシミリアン、メキシコ市へ到着
- 1865 『メキシコ帝国暫定統治法』公布。フアレス、サルティーリョ、モンテレイ、チワワを経て、パソ・デル・ノルテに政府を移す。マクシミリアン、バゼーヌの要請により、共和主義者の統殺令を発す。フアレス、同年12月1日を以て終了する大統領の任期延長を布告。バラグアイ戦争起る(〜70年)
- 1866 仏軍、メキシコ国内で撤収を開始。ポルフィリオ・ディアス、皇帝派軍を破り、オアハカを占領。メキシコ帝国『民法典(第1編、第2編)』公布
- 1867 マクシミリアン、ケレタロ共和派軍に降伏。フアレス、閣僚とともにメキシコ市へ帰還。フアレス、大統領、最高裁判所長官、連邦議會議員の選挙

- を告示。ファレス、大統領に就任。『連邦区における公教育組織法』公布
- 1869 『アンパロ組織法』公布。連邦区の刑事訴訟に陪審、保釈制度を導入
- 1870 『連邦区とバハ・カリフォルニア直轄領のための民法典』公布。スペイン、
『刑法典』公布
- 1871 大統領選挙行われる(後に決戦投票により、ファレスが選出)。ディアス、
オアハカで「ラ・ノリア計画」を発表。『連邦区とバハ・カリフォルニア
直轄領のための刑法典』公布。
- 1872 ディアス、「ラ・ノリア計画」による反乱に失敗。ファレス、死亡。暫定大
統領レルドニデテハーダー、『恩赦法』公布。『連邦区とバハ・カリフォ
ルニア直轄領のための民事訴訟法典』公布。レルドニデテハーダ、大統
領に就任。スペイン、『刑事訴訟法』公布
- 1873 メキシコとベラクルース間にメキシコ鉄道開通。「諸改革法」の諸原則、憲
法に取り入れられる。レルド政権、諸改革法の実施に着手
- 1874 連邦議会上院、設置される
- 1875 『開拓法』公布
- 1876 「トゥッシュベック計画」、オアハカ州で発表。ディアス、同計画への参加を
表明。レルド、大統領に再選。最高裁判所長官イグレスィアス、レルドの再
選無効を主張し、自ら大統領を名のる。ディアス、テアコックの戦闘に勝
利、プエブラに入城。レルド、アメリカ合衆国に亡命。ディアス、暫定大
統領に就任。
- 1877 ディアス、チャパーラ湖近くでイグレスィアスを討ち破った後、政権に復帰。
ディアス、選挙を経て大統領に就任。アメリカ合衆国、ディアス政権を承
認
- 1878 57年憲法に大統領と州知事の再選禁止に関する規定加えられる。北部地域
でレルド派の反乱(鎮圧される)
- 1879 『農業地域学校に関する規則』公布。ベラクルースでレルド派の反乱(鎮圧
される)
- 1880 71年民事訴訟法典を全面改正。『連邦区および直轄領のための刑事訴訟法
典』公布。ディアス、議会で新たな鉄道網の建設計画の承認を得る(この頃
より欧米資本流入が本格化)。マヌエル・ゴンザレス、大統領に就任。
スペイン、『民法典』編纂再開
- 1881 『海事規則』(1793年)を改正する規則、鉄道法を公布。スペイン、『民事訴
訟法』公布
- 1882 ゴンザレス政権、グアテマラと国境条約を締結
- 1883 『郵便法典』、『アンパロに関する法律(第3次)』公布。ゴンザレス政権、
『開拓法』を公布(同法はラティフンディオがインディオの共有地をとり囲

- む場所となる)
- 1884 『連邦区およびバツハ・カリフォルニア直轄領のための民法典』、『同民事訴訟法典』公布。ディアス、大統領に再任。『連邦区およびバツハ・カリフォルニア直轄領のための民事訴訟法典(第2次)』、『連邦商法典』(バランダ法典)、『連邦鉱業法典』公布
- 1885 スペイン、『商法典』制定
- 1886 『外国人と帰化に関する法律』公布。キューバ、奴隷制を廃止
- 1887 師範学校制度が確立される。『連邦区における初等教育義務化法』公布。ディアス、憲法再選禁止規定を1回の再選に限り認められるよう改正する。後、選挙を経て大統領に就任
- 1888 『交通通信路と水利に関する法律』、『初等教育義務化法』、株式会社を規律する特別法を公布、スペイン、『民法典』制定、ブヰルで奴隷制度、完全に廃止
- 1889 『開拓法施行規則』、『連邦商法典』公布、商標に関する法律を制定。第1回米州国際会議開催(ワシントン)、米州連合加盟(1948年以降、米州機構)。スペイン、『民法典』公布
- 1890 メキシコ司法立法学士院設立。『特許法』公布
- 1891 『連邦区刑事陪審法』、『衛生法典』、『国家官庁組織法』公布
- 1892 『軍事裁判法典』、『鉱業法』、『鉱業税法』公布。ディアス、憲法の再選禁止規定を撤廃し、選挙を経て大統領に就任
- 1893 ホセ・イベス・リマントゥールが大蔵大臣となる(この頃よりディアス政権へのシエンティフィコの影響力が確立される)。ディアス政権、英国と条約を結び、カースト戦争を行っていたマヤ族への英国の援助の停止と引換えにベリーズの領有を認める
- 1894 測量会社が取得した土地所有権を確認し、その税金を免除する法律、『灌漑と工業のための連邦の水利のためのコンセッションを規律するデクレト』、『連邦区および直轄領のための刑事訴訟法典』公布。グアテマラと国境紛争、新国境条約を締結
- 1895 『郵便法典』公布
- 1896 『連邦区連邦裁判所および巡回裁判所規則』公布
- 1897 アルカバラ税(売上税)を撤廃す。『連邦民事訴訟法典』、『犯罪人引渡し法』、『銀行法』公布
- 1898 『行政争訟に関する法律』公布。米西戦争、キューバ独立
- 1899 『鉄道法』公布
- 1900 『国家軍組織法』公布
- 1901 『石油法』公布。第1回メキシコ自由主義者会議がサン・ルイス・ポトシで

- 開催。「国際紛争の平和的解決に関する条約」に調印
- 1903 『意匠・商標法』、『特許法』を公布。「工業所有権保護に関するパリ条約」に加盟。パナマ、コロンビアより独立
- 1904 ディアスとラモン・コラルはそれぞれ正副大統領に就任(これに先立ち憲法の改正により、大統領の任期は4年から6年に延長され、副大統領制が設けられた)
- 1905 マヌエル・アビラとフロレス・マゴーン兄弟ら、自由党を結成
- 1906 自由党、52項目の綱領を発表。ソノーラ州カナネア鉱山、ベラクルース州のリオ・ブランコ紡績工場での労働ストライキ制圧
- 1908 『連邦管轄の水利に関する法律』、『連邦民事訴訟法典』、『連邦刑事訴訟法典』、『連邦検察庁組織法』公布。フランシスコ・マデーロ、「1910年の大統領承継」を公刊。ディアス、外資系鉄道に資本参加を決定
- 1909 ポルフィリオ派のシエンティフィコ分子、民主党を結成。マデーロ、エミリオ・バスケス・ゴメス、フィロメーノ・マたら、再選反対党を結成。『連邦司法府組織法』、『検事局組織法』、『鉱業法』、『移民法』公布
- 1910 再選反対党、マデーロとゴメスをそれぞれ正副大統領に指名。メキシコ大学再開。ディアスとゴラル、それぞれ正副大統領に当選。マデーロ; サン・ルイス・ポトシ計画発表。サン・ルイス・ポトシ計画により決起。モレーロス州を初め各地で、原住民、農夫、牧夫、鉱夫等の反乱が起こる
- 1911 ディアス、反乱の鎮圧のため、憲法の人権条項の停止を議会に要請。オロスコとパンチョ・ビリャ、チワワ州フアレス市で連邦軍に勝利。危機対処のため、ディアス政権の全閣僚辞任。フアレス条約、ヨーロッパから呼び戻されたりマントゥールの使者と革命軍の間で締結。ディアス、大統領を辞任(ヨーロッパへ亡命)。レオン・デ・ラ・バラ、暫定大統領に就任。マデーロとマリーア・ビーノ・フアレス、それぞれ正副大統領に就任。サバータ、「アヤラ計画」を発表
- 1912 世界労働会館という労働組織、メキシコ市に設立。「自由法律学校」設立
- 1913 モンドラゴーン将軍の反乱、収監中のレイエスとフェリックス・ディアスを釈放。反乱の鎮圧を委ねられたウエルタ、反革命クーデターによりマデーロ政権を打倒し、暫定大統領になる。ウエルタ、マデーロとビーノ・フアレスを暗殺。カランサ、コアウイラ州でグアダルーペ宣言により、第1大統領に就任。後、ノガレスに臨時政府を樹立
- 1914 ウエルタ、世界労働会館を閉鎖。ウエルタ、大統領を辞任(ヨーロッパへ亡命)。オブregon等、護憲派、メキシコ市を占領。カランサ、暫定大統領に就任。護憲派内部で対立、革命諸派、アグアスカリエンテ会議を召集。カランサ、アグアスカリエンテ会議と決別し、ベラクルースに移る。エウ

ラリオ・グティエレス、会議派の暫定大統領となる。カランサ、ベラクルースで「付加修正令」を出し革命勝利後の憲法改正を予告。離婚制度の導入。
パナマ運河開通

- 1915 カランサ、ベラクルースで「グアダルルーペ計画」の実施要綱を発表、『エヒードの返還・創設法』公布。ビリャ派のロケ・ゴンザレス・ガルサ、グティエレスに代わり暫定大統領になる。オブレゴン軍、セラヤでビリャ軍を破る。アメリカ合衆国および他のラテンアメリカ9カ国、オブレゴン政府を事実上の政府として承認
- 1916 カランサ、ケタロに護憲派の政府を移す。アメリカ合衆国軍、ビリャの逮捕を口実にメキシコ北部侵入(～17年2月)。カランサ、制憲議会を召集
- 1917 ケタロで憲法公布。『家族関係法』公布。カランサ、大統領に就任。『連邦司法府組織法』公布。メキシコ法曹会設立
- 1918 メキシコ労働者地域連合(CROM)結成。『連邦選挙法』公布
- 1919 『アンパーロ法』、『連邦区および直轄領のための刑事管轄および訴訟の組織に関する法典』公布。ワイマール憲法公布
- 1920 ウエルタとカリェス、ソノーラ州で「アグア・プリエタ計画」を発表しカランサ政権に反乱。カランサ、ベラクルースに向かう途中で暗殺される。ウエルタ、暫定大統領になる。オブレゴン、大統領に就任。『遊休農地法』、『エヒード法』公布
- 1921 教育省が設置される
- 1922 メキシコ弁護士会設立
- 1923 メキシコ、「ブカレリ条約」によりアメリカ合衆国と国交回復。『自由地法』公布。ウエルタ、ベラクルースでオブレゴンに反乱(鎮圧される)
- 1924 プルタルコ・エリェアス＝カリェス、大統領に就任。『金融機関銀行一般法』公布。キューバ共産党創立
- 1925 パンコ・デ・メヒコ(国立中央銀行)創設。『石油法』公布
- 1926 『森林法』、『鉱物産業法』、『郵便法典』、『鉄道法』、『道路法』、『電気通信法』、『農業信用法』、『保険会社一般法』、『信託銀行法』を公布。カリェス法による反教権的施策に対しキリスト教会を閉鎖。クリステロ戦争始まる(～29年)。農業信用国立銀行設立。
- 1927 フランシスコ・セラノとアルヌルフ・ゴメス、カリェスの再選の動きに反対し反乱蜂起(鎮圧される)。労働和解調停委員会が設立される
- 1928 「外国人の法的地位に関する協定」(ハバナ)に調印。『連邦区と連邦直轄領のための民法典』(社会私法典)公布。国際私法に関する「ブスタマンテ法典」調印。『特許法』、『商標、意匠および商号に関する法律』、『財政法』を公布。オブレゴン、大統領に再選。オブレゴン、メキシコシで暗殺される。エミ

- リオ・ポルテス＝ヒル、大統領に就任。『連邦区および直轄領組織法』公布。国民革命党(PNR)設立委員会発足。チャコ紛争(ポリビア・パラグアイ)
- 1929 メキシコ大学、政府に対し自治権を獲得。国民革命党、第1回党大会開催。ポルテス＝ヒル政権、ヴァチカンと了解、クリステロー戦争終結。世界的な大恐慌が始まる(～33年)。『検事局組織法』、『連邦区および連邦直轄領のための刑法典』、『連邦区および直轄領のための刑事の組織、管轄および手続に関する法典』公布。「ワルソー国際航空運送条約」加盟
- 1930 パスクアル・オルティース・ルビオ、大統領に就任。エストラダ主義を宣明する。『共和国統計画法』、『民間航空法』、『鉱業法』公布
- 1931 メキシコ、金本位制に復帰。『連邦区および連邦直轄領のための刑法典』、『連邦区および直轄領のための刑事訴訟法典』、『通貨法』、『連邦労働法』、『通信一般手段および交通路法』、『エヒード権所有者と農業者のための農業信用法』公布。農地についてアンパロの訴え廃止
- 1932 『連邦区および連邦直轄領のための民事訴訟法典』、『金融機関一般法』、『有価証券と信用運用に関する法律』公布。国際連盟に加盟。ルビオ、元大統領カリエスの後見に反対し辞任(後任はアベラルド・ロドリゲス将軍)。『連邦区・直轄領通常裁判所組織法』公布
- 1933 「6カ年計画」発足。『会社一般法』、『軍事司法法典』公布。「航空機による地上損害に関するローマ条約」署名
- 1934 『国籍および帰化法』公布、これによりバリエルタ法を廃止。『農業法典』公布。「ベトロレス・デ・メヒコ」(メキシコ石油株式会社)創設。『独占に関する法律』、『公益有限会社法』、『連邦刑事訴訟法典』公布。ラサロ・カルデナス、大統領に就任。社会主義教育義務化(～46年)
- 1935 カリエス、メキシコを去る。『連邦司法部組織法』、『関税法』、『財政組織法』、『保険機関一般法』公布。エヒード信用国立銀行設立
- 1936 『アンパロ法』制定、労働事件にアンパロを導入。『財政司法法』により連邦財政審判所創設。メキシコ労働者連合(CTM)結成
- 1937 鉄道、国有化される。ポリテクニコ(国立総合工科大学)設立
- 1938 『協同組合法』公布。カルデナス、石油を国有化。メキシコ石油公社(PEMEX)設立。国民革命党はメキシコ革命党(PRM)に再編。『連邦公務員法』、『財政法典』公布
- 1939 『国の諸省および諸庁に関する法律』、『通信一般手段法』公布
- 1940 『石油部門に関する憲法第27条の施行法』、『兵役法』、『農業法典』公布。メキシコ国立自治大学に「比較法研究所」を創設(68年に法学研究所と改称)。『連邦政府管轄債務弁済法』公布。マヌエル・アビラ＝カマーチョ、大統領に就任

- 1941 『メキシコ銀行組織法』, 国立協同組合振興銀行設立。『連邦区および直轄領組織法』公布
- 1942 『公教育組織法』公布。「原産地表示の防止に関するマドリッド協定」破棄。メキシコ, 枢軸側へ宣戦布告。アメリカ合衆国との間で「ブラセリスモ」に関する取決めを締結。『連邦民事訴訟法典』, 『農業法典』, 『工業所有権法』公布
- 1943 『メキシコ社会保障公社法』公布。カマーチョ大統領, モンテレイでアメリカ合衆国大統領ルーズベルト大統領と会談。エル・コレヒオ・デ・メヒコ設立
- 1944 アメリカ合衆国との間で国際河川条約を締結。「シカゴ国際民間航空条約」加盟
- 1945 『大学組織法』公布
- 1946 メキシコ革命党を再編して制度的革命党(PRI)設立。『連邦選挙法』改正。米州会議で「チャプルテペック憲章」採択(メキシコ市)。ミゲール・アルマン, 大統領に就任
- 1947 国家投資委員会創設。『住民一般法』, 『分権化組織および国家参加企業統制法』公布
- 1948 『著作権に関する連邦法』公布。第9回米州会議で「米州機構(OAS)憲章」調印される。同憲章および「米州相互援助条約」を批准
- 1950 『原子力法』, 『未墾国有地, 余剰地および超過地に関する法律』公布
- 1951 『連邦選挙法』改正。『投資会社法』公布。巡回裁判所創設
- 1952 『関税法典』公布, アドルフォ・ルイス=コルティネス, 大統領に就任
- 1953 婦人参政権, 確立する
- 1954 『連邦区および直轄領の検事局組織法』公布
- 1955 『新規必需産業助成法』公布
- 1958 『国の諸省および諸庁に関する法律』公布。アドルフォ・ロベス=マテオス, 大統領に就任
- 1959 キューバ革命
- 1960 『ラジオおよびテレビ連邦法』公布, 電力産業の国有化
- 1961 『鉱物資源の採掘および利用に関する憲法第27条の施行法』公布。アメリカ合衆国大統領ケネディ, 「進歩のための同盟」を提唱。カストロ, 社会主義国家を宣言
- 1962 ジャマイカ, トリニダッド・トバゴ独立
- 1963 『アンパーロ法』, 農地についてのアンパーロ復活。『航行・海商法』, 『国家公務員法』公布。「文学および芸術所有権に関する米州条約」加盟
- 1964 グスタボ・ディアス=オルダス, 大統領に就任

- 1966 「領海，海洋資源の保存，大陸棚に関するジュネーブ条約」に加盟
- 1967 ディアス，ラテンアメリカの非核化を提唱。「ラテンアメリカにおける核兵器の禁止に関する条約」(トラテロルコ条約)加盟
- 1968 反政府デモ，トラテロルコ事件が起こる。「著作権の保護に関するブラッセル条約」，「航空機内の犯罪に関する東京条約」に加盟。『農業コロニア規則』，『国有財産一般法』公布
- 1969 『連邦財務法典』公布。「ラテンアメリカにおける核兵器の禁止に関する条約」を批准
- 1970 『連邦労働法』公布。ルイス・エチェベリーア＝アルバレス，大統領に就任。『分権化組織および国家参加企業統制法』，『連邦区庁組織法』公布。「航空機の不法奪取の防止に関するハーグ条約」加盟。チリでアジェンデ社会主義政権が発足
- 1971 マキラドーラの実策を制定。『農業改革連邦法』，『環境法』，『連邦区検察庁組織法』公布。行政裁判所設置
- 1972 『技術移転および特許・商標の使用・利用の登録に関する法律』，『連邦区庁組織法』公布。「テロリズムに関する条約」(米州機構)，「海域汚染防止条約」加盟。「世襲水域」理論を支持
- 1973 『外国投資法』，『選挙連邦法』公布。「ウイコット計画」発表
- 1974 『人口法』公布。「テスココ計画」発表。「原子核エネルギーによる被害の民事責任に関する法律」公布。「民間航空不法妨害防止に関するモンリオール条約」加盟。チリ軍事クーデター後，チリ政府と国交断絶。男女の法的平等が法律に規定される
- 1975 エチェベリア大統領の提案した「諸国家の経済的権利義務憲章」が国連で採択される。『消費者保護連邦法』，『鉱業法』，『都市開発法』公布
- 1976 「ラテンアメリカ経済機構(SELA)設立協約」を批准。『農業信用一般法』，『連邦行政組織法』，『公的債務法』，『発明・商標法』，『住民定住一般法』公布。ホセ・ローベス＝ボルティエリョ，大統領に就任
- 1977 『政治団体および選挙手続に関する法律』(LOPPE)公布
- 1978 「米州人権条約」加盟。ドミニカ国が独立
- 1979 「外国判決の域外の効力に関する米州条約」加盟，ハバナで非同盟諸国会議開催
- 1980 オアハカで大地震が発生
- 1981 『財政法典』公布。南北サミット，「カンクン宣言」を発表
- 1982 『技術移転および特許・商標の使用・利用の登録に関する法律』改正。ミゲル・デラ＝マドリ＝ウルタード，大統領に就任。累積債務危機が起こる。民間金融機関を国有化

- 1983 「コンタドーラ・グループ」結成。『著作権法』改正, 『共和国検察庁組織法』, 『連邦刑事訴訟法典』公布。アメリカ合衆国, グレナダに派兵
- 1984 『保健一般法』公布
- 1985 『公私合弁企業法』公布。メキシコ首都で地震
- 1986 石油価格下落で経済危機。ガットに加盟。『海洋連邦法』, 『対外通商法』, 『アンチ・ダンピング規則』公布。アメリカ合衆国におけるメキシコ人の不正規入国者に関する『シンプソン・ロディーノ法』制定。
- 1987 『発明・商標法』改正。『新選挙法典』公布, 選挙訴訟裁判所(TRICOPEL)創設。
- 1988 『アンパロー法』改正。カルロス・サリーナス＝デ＝ゴルターリ, 大統領に就任。
- 1989 「国家開発計画(1989-1994)」発表。『連邦直轄領刑法典』改正
- 1990 憲法諸規定の改正(選挙および銀行関連規定)。国家人権委員会創設。ブッシュ大統領, 新中南米支援構想(EAI)発表。「米墨自由貿易協定の締結に関するコミュニケ」発表
- 1991 『工業所有権の振興・保護に関する法律』, 『著作権法』公布。ブラジル, アルゼンチン, パラグアイ, ウルグアイ, 「南米共同市場条約(Mercosur)」締結
- 1992 憲法諸規定の改正(エヒードおよび宗教関連規定), 人権擁護強化のための憲法付属条項, 先住民の権利の保障に関する憲法規定の追加。北米自由貿易協定締結

(注) 年表の作成にあたり, メキシコ大学院大学編『メキシコの歴史』(村江四郎訳), 昭和55年, 新潮社/ J. Patrick McHenry, *A Short History of Mexico*, Dolphin Books Edition 1970, New York (Doubleday & Company, Inc.) / Helen L. Clagett and David M. Valderrama, *A Revised Guide to the Law & Legal Literature of Mexico*, 1973, Washington D.C., Library of Congress などを参考にした。